

ご意見ご連絡は下記へどうぞ

北海道熊研究会事務局 北海道野生動物研究所内(Tel. 011-892-1057)

代表 門崎 允昭 e-mail: kadosaki@pop21.odn.ne.jp

事務局長 Peter Nicholsピーターニコルス氏

幹事長 藤田 弘志 氏

北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Association

Website は「北海道野生動物研究所」と入力して下さい

「北海道熊研究会」Hokkaido Bear Research Associationの活動目的

熊の実像について調査研究し、熊による人畜及びその他経済的被害を予防しつつ、人と熊が棲み分けた状態で共存を図り、狩猟以外では熊を殺さない社会の形成を図るための提言と啓発活動を行う。この考えの根底は、この大地は総ての生き物の共有物であり、生物間での食物連鎖の宿命と疾病原因生物以外については、この地球上に生を受けたものは生有る限りお互いの存在を容認しようと言う生物倫理(生物の一員として人が為すべき正しき道)に基づく理念による。

Ⅰ<今回は、猟師が減少したために熊の捕殺数が減り、熊が増えたと言う見解に対する反証を述べる>

下表は日本国内で、狩猟免許を、有する者の年度別人数である。(狩猟免許が無いと熊鹿猪など狩猟獣は殺せない)。1995年度は24万6千人だったのが、2000年以降は、21万人ないし18万人台で微増減しているが、1995年以前と比較し、減少している事は間違いない。

年齢別狩猟免許所持者数

年齢	(単位:人 百の位で四捨五入)													
	1975 (550)	1980 (555)	1985 (560)	1990 (562)	1995 (567)	2000 (572)	2005 (577)	2006 (578)	2007 (579)	2008 (580)	2009 (581)	2010 (582)	2011 (583)	2012 (584)
20~29歳	89,000	49,000	11,000	5,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	2,000	2,000	3,000	3,000	4,000
30~39歳	158,000	149,000	89,000	41,000	16,000	10,000	9,000	8,000	10,000	9,000	9,000	9,000	10,000	10,000
40~49歳	156,000	136,000	100,000	99,000	75,000	36,000	19,000	17,000	19,000	18,000	16,000	16,000	16,000	17,000
50~59歳	69,000	85,000	85,000	86,000	77,000	80,000	71,000	63,000	68,000	58,000	44,000	41,000	38,000	32,000
60歳以上	46,000	42,000	42,000	59,000	74,000	81,000	103,000	97,000	129,000	134,000	114,000	122,000	131,000	117,000
合計	518,000	461,000	326,000	290,000	246,000	210,000	204,000	187,000	229,000	222,000	186,000	190,000	198,000	181,000

※四捨五入のため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。  
 ※近年7年間は毎年集計。それ以前は5年ごとの集計。  
 ※2007年(H19年)に「熊・わな猟免許」を「熊猟免許」と「わな猟免許」に区分。

Ⅱ <日本での月輪熊U.thibetanusと熊U.arctosの捕殺数>

有史以来、日本では、月輪熊が本州以南にのみ生息し、熊が北海道にのみ生息している。その捕殺数の資料は、月輪熊は1923年(大正12年)から、熊は1873年(明治6年)からある。

下記の表は、その内の、1961年から2014年に至る54年間の熊と月輪熊の年度別捕殺頭数で、狩猟と駆除に分けた数値とその合計数である。少なくとも、2000年以降の年度別捕殺数の合計値(狩猟数+駆除数)は、3年単位で見ると、明らかに増加している。従って、猟師が減少していても、熊の捕殺数は減っていないのが実態である。

その理由は、狩猟期の猟具として、熊猟に1983年以降使用が禁止されている檻罠での捕獲が駆除用には許可され、罠の誘餌に蜂蜜果物鹿の臓器や肉家畜の餌などを同時に用いる等の工夫で、熊が容易に餌に誘引され以前にもまして檻罠に入るようになり、その為に、捕殺数が増加しているのである。

< 1961年から2014年に至る54年間の熊と月輪熊の年度別捕殺頭数 >

	年度	熊狩猟	熊有害捕獲	熊合計	月輪熊狩猟	月輪熊有害捕獲	月輪熊合計
	1961	164	216	380	638	337	975
	1962	458	410	868	666	479	1145
	1963	121	260	381	464	923	1387
	1964	411	383	794	497	374	871
	1965	157	333	490	572	716	1288
	1966	194	472	666	686	868	1554
	1967	160	319	479	667	723	1390
	1968	137	357	494	908	1141	2049
	1969	179	344	523	773	635	1408
	1970	136	500	636	1070	1760	2830
	1971	184	451	635	1015	1078	2093
	1972	136	225	361	968	824	1792
	1973	112	351	463	1179	890	2069
	1974	196	453	649	1202	1483	2685
	1975	123	265	388	848	1468	2316
	1976	109	255	364	1166	877	2043
	1977	74	335	409	861	1618	2479
	1978	84	312	396	1309	1329	2638
	1979	142	295	437	942	1763	2705
	1980	128	280	408	831	1019	1850
	1981	103	267	370	1300	1410	2710
	1982	155	264	419	1019	1106	2125
	1983	167	231	398	863	1145	2008
	1984	89	222	311	869	860	1729
	1985	97	180	277	923	1355	2278
	1986	156	289	445	953	1625	2578
	1987	156	139	295	1140	822	1962
	1988	146	143	289	972	1148	2120
H1	1989	76	108	184	761	1266	2027
H2	1990	132	88	220	869	658	1525
H3	1991	173	94	267	811	1086	1897
H4	1992	98	124	222	578	1148	1726
H5	1993	118	169	287	553	666	1219
H6	1994	72	105	177	448	1080	1528
H7	1995	111	122	233	728	658	1386
H8	1996	126	210	336	479	1246	1725
H9	1997	94	112	206	539	667	1206
H10	1998	141	158	299	492	725	1217
H11	1999	132	208	340	549	1473	2022
H12	2000	119	179	298	676	980	1656
H13	2001	154	309	463	388	1728	2116
H14	2002	109	190	299	649	999	1648
H15	2003	95	298	393	514	1240	1754
H16	2004	55	303	358	273	1987	2251
H17	2005	140	456	596	561	645	1206
H18	2006	91	339	430	559	4287	4846
H19	2007	61	375	436	527	839	1366
H20	2008	61	365	426	518	506	1024
H21	2009	82	567	649		計969	969
H22	2010	68	493	561		計3053	3053
H23	2011	138	688	826		計962	962
H24	2012	77	622	699		計2474	2474
H25	2013	46	566	612		計1210	1210
H26	2014		計550	550		計3412	3412

計:対象年度の総捕獲数である。  
年度は会計年度である。

國と道と門崎の資料で門崎作成  
熊の捕獲数は1873年(明治6年)からある。